

# The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

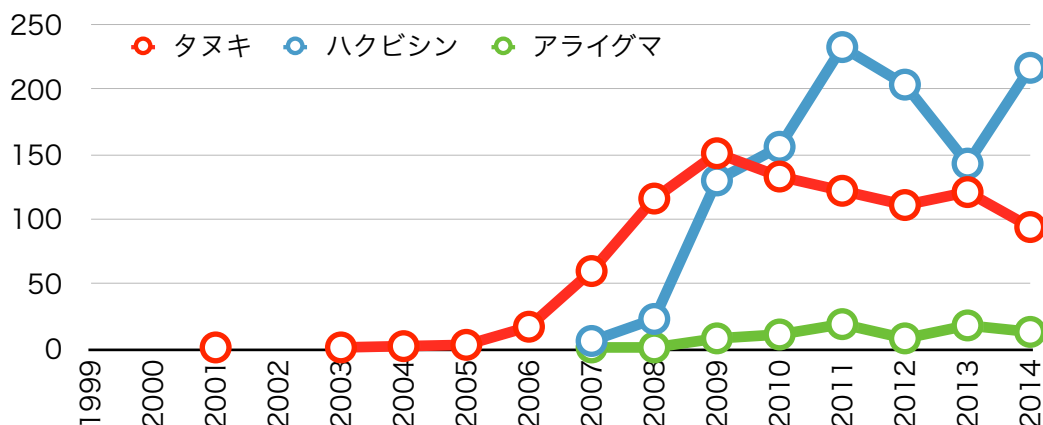
2015年7月号 通巻79号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2015

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

## ハクビシン被害、いつ増えた？

### 最近のことではありません



グラフは東京タヌキ探検隊！の収集情報数。メールのみ、その年に届いた目撃情報のみの集計。本文にも書いたように、2008年以前はシステムが十分に機能していなかったために得られた情報数も少なかった。2009年以降は安定して目撃情報が得られている。

どうも最近、「東京でハクビシンが激増している」という噂があるようです。

### データで検証すると

こういう場合、たいていはマスメディアの影響だと考えられます。調べてみると2014年9月16日に読売新聞、2014年10月15日に日経新聞、2015年1月7日に朝日新聞がハクビシン被害を取り上げていました。読売新聞の記事によれば「東京都自然環境部では、2010年度に172件だった相談や目撃情報が、12年度には556件に急増した」とあります。

東京タヌキ探検隊！のデータでも検証してみましょう。ただし、東京タヌキ探検隊！の情報収集のシステムが十分に機能し始めたのは2008年頃以降です。なぜそれまでうまく機能しなかったのかというと、パソコンとインターネットの普及がまだ十分ではなかったからです。ですから2007年以前のことはこの調査研究ではまったくわかりません。また、

ハクビシンやアライグマの情報収集を公式に始めたのは2008年からで、そのためタヌキよりもやや遅れて機能することになりました。

上のグラフのように2010年以降はハクビシンでは上下の変動はありますが2倍3倍と増えているような様子はありません。これはつまり、生息数はほぼ上限に達していることを示唆しています。タヌキもハクビシンも生息可能な場所にほぼ進出してしまっており、これ以上増える余地はあまりなさそうということが読み取れます。

これは先ほどの都の数値と一致しないように見えますが、ハクビシン被害が広く知られるようになったのがその頃だったのだろうと私は推測します。被害は生息数の実態よりも遅れて認知されたのでしょう。

### 横浜市の場合は

ハクビシンの東京都進出の時期は不明ですが、横浜市の場合は「ハクビシンの横浜市内への進出について」

(板橋他、2010)という文献で分析されています。これによると1990年代から約10年ほどで横浜市全域に分布が広がったことがわかります。東京都23区でも同じ頃に分布が広がったのではないかと思います。東京タヌキ探検隊！の調査は残念ながらその過程には間に合わなかったわけです。

東京都での具体的な分布拡大は都環境局の過去データを調べるとわかるでしょう。野生哺乳類を捕獲するには都の許可が必要で、その結果も報告しなければなりません。その数字を調べれば過去の動向もわかるはずですが、私にはそれを調べる余裕がありません。誰か調べてみていただけないでしょうか。

## スポンサー枠

スポンサー募集中です！

全国のタヌキ、ハクビシンなどの情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>